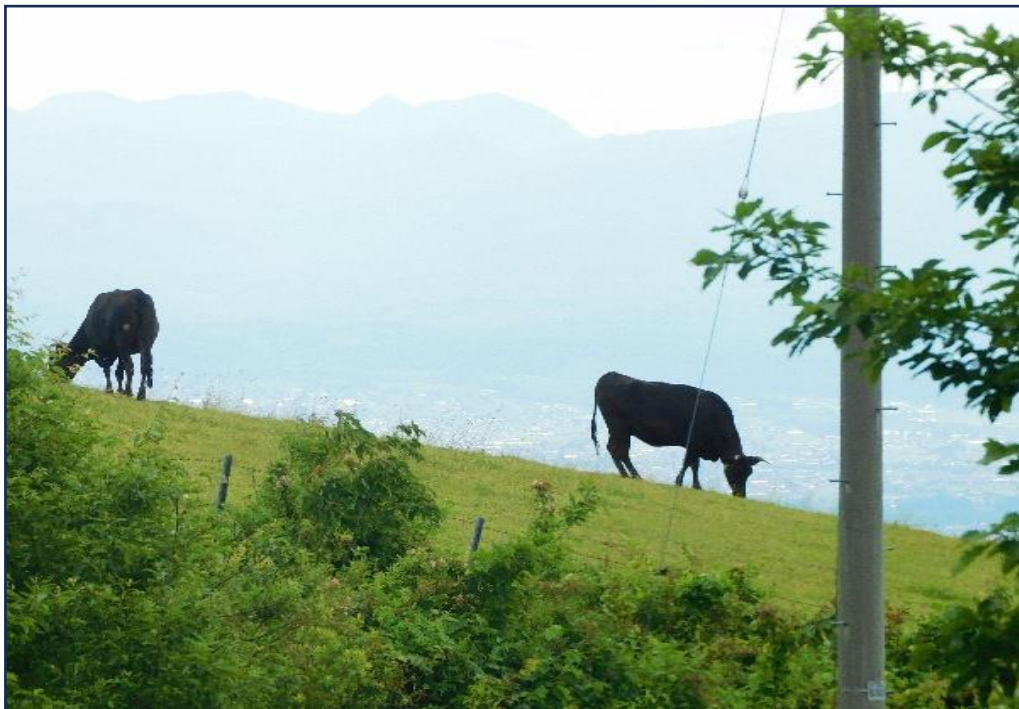


種山ヶ原は今55

夏の朝 牛は物見山に 里遥か



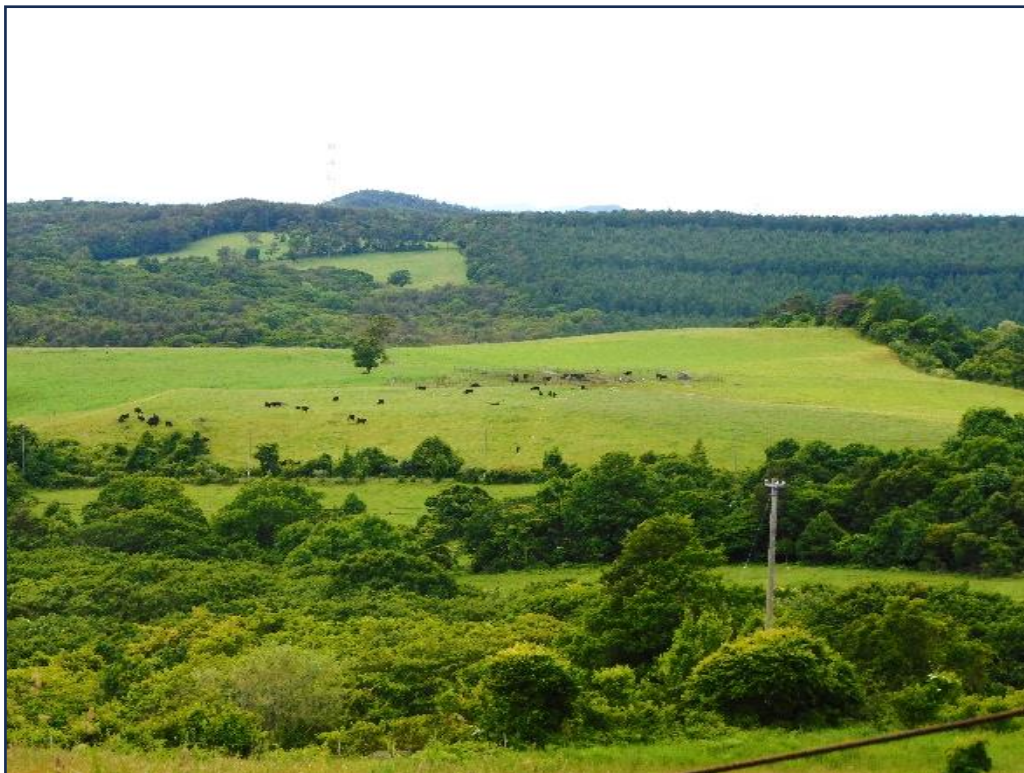
眼下に草を食む牛達
お世話をする人たちが
牧草地を替えながら
牛達を世話している



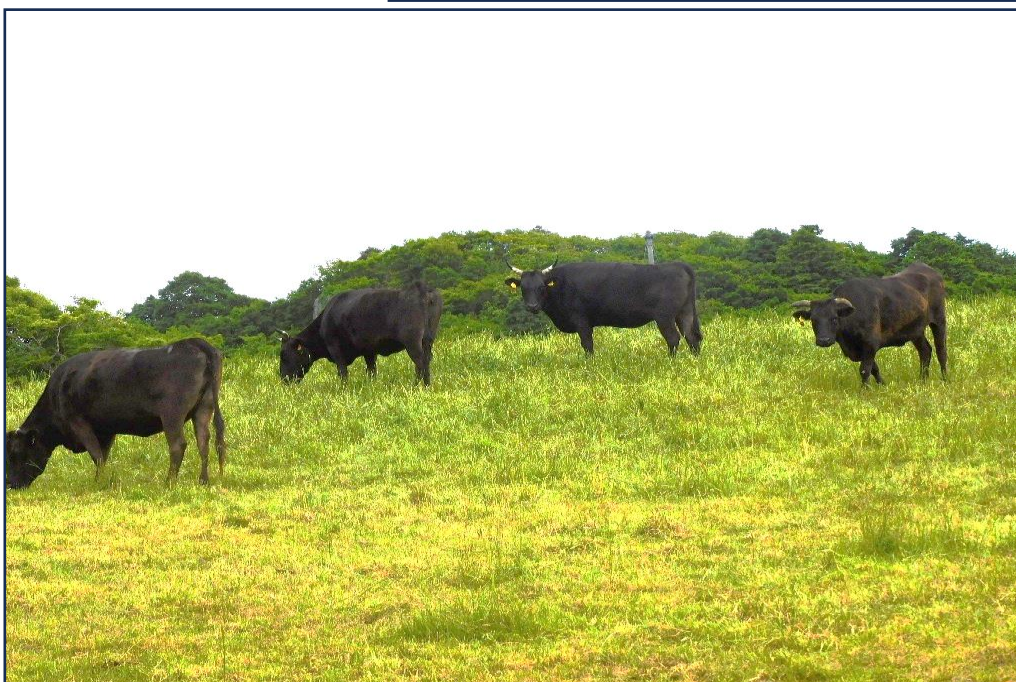
夕暮れに 寝そべる牛ら 里話



人恋し 人の声すりゃ
みんな向く



夕方になると
 どこからともなく
 鹿たちが出てくる
 夜になると鹿で
 いっぱいになる
 3割は鹿が食べて
 しまうらしい





120年以上もなり続けている

人首カトリック教会 鐘楼

賢治も聴いた

「アンジェラスの鐘」

フランス製

大正7年種山ヶ原から人首を訪れた時、人首カトリック教会ハリストス正教会の鐘の音を聴いている。人首カトリック教会はアンジェラスの鐘だけが残っている。10年程前に老朽化で取り壊された。ハリストス教会は昭和8年人首大火で焼失し、2回再建したが、今はもうない。

教会はもうない

鐘楼だけが残った

「アンジェラスの鐘」

これだけは失くせない

生まれる前から

ずーっと 聞いてきた

教会の鐘「ガンガラボーン」

マリア様も

向かいの山の

一本杉の下に立って

私達を見守っていてくれた

それも3・11で

崩れ落ちた

教会の下で暮らす我らは

アンジェラスの鐘を残す

「鳴らし続けたい」と願い

広場を作り、

鐘楼に十字架を飾り、

カトリカの鐘は復活した

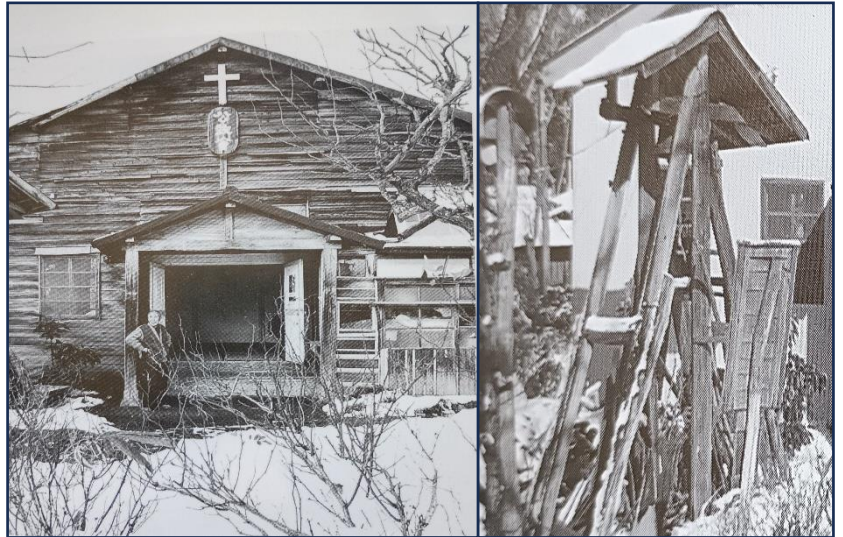
今も夕方五時

アンジェラスの鐘が

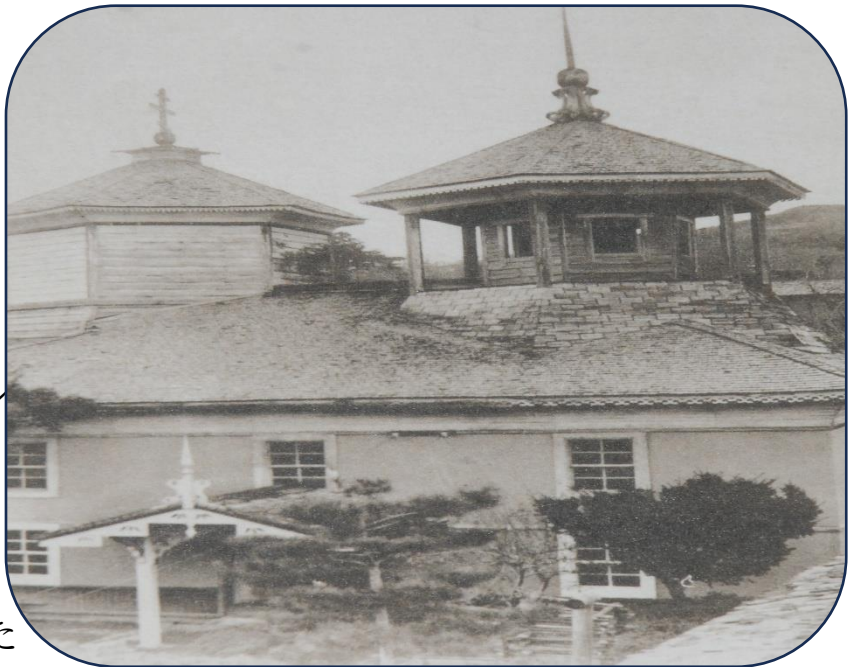
お寺の鐘が

そして、チャイムが鳴り

子ども達の声が聞こえる



人首ハリストス教会

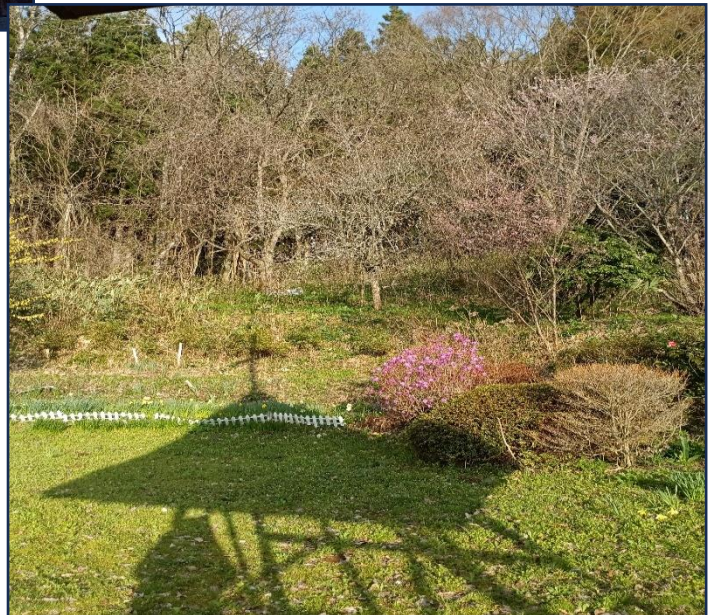
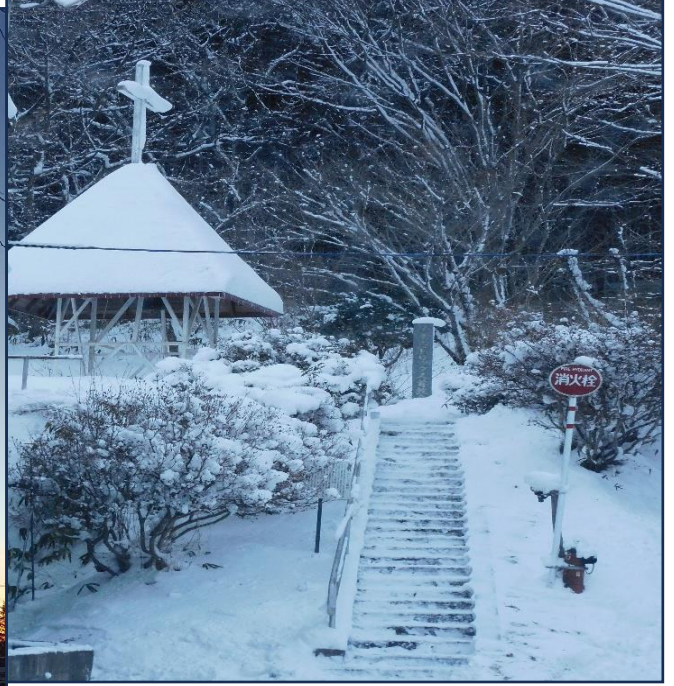
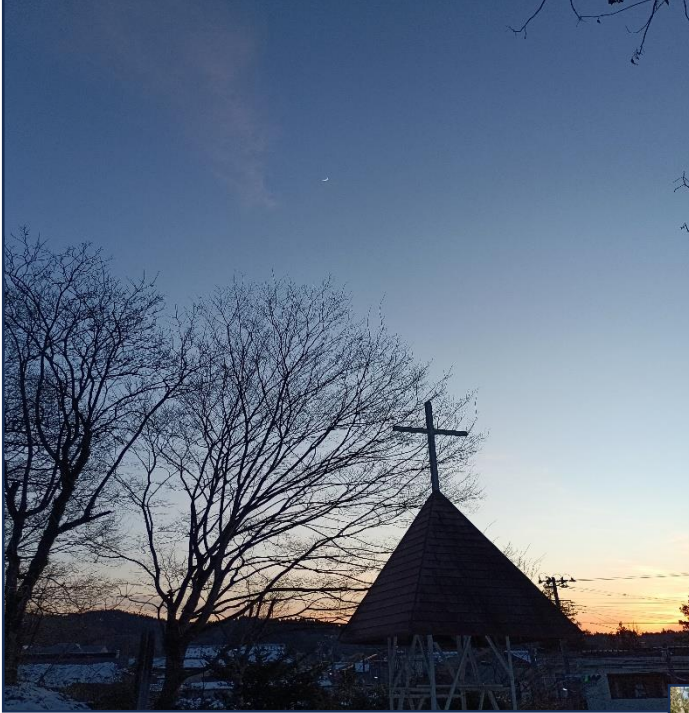


アンジェラスの鐘鐘楼修復の式典





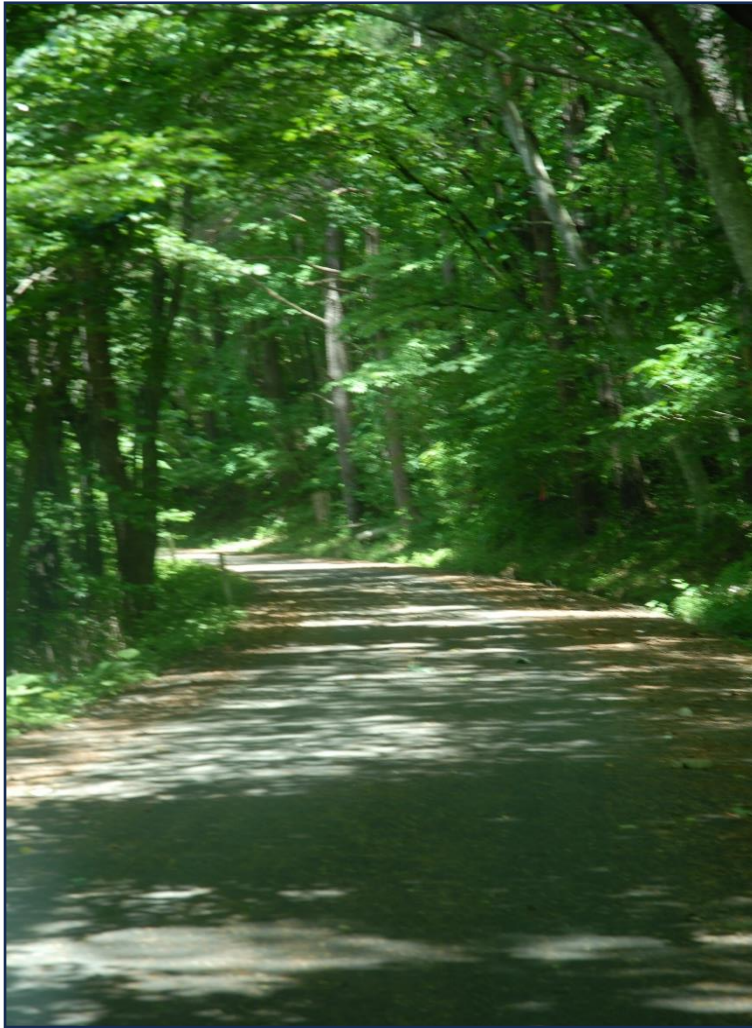
明治38年アンジェラスの鐘(フランス製)
昔は朝・昼・晩 今は夕方5時に鳴らし
しています。現在121年目



牧草刈り 飼料代が高く、牧草刈りに正に懸命に取り組んでいます



緑のトンネル



種山ヶ原からの帰り、大森林道
を通ってきました。途中大好き
な所がいくつかあります。緑の
トンネルもその一つです。特に、
夏は涼しくて、木漏れ陽のダン
スがうれしいです。いつも、し

らくトンネルの中で過ごします。

「若葉のトンネル
木洩れ日の鬼ごっこ」



麦の色 燐りしほどに 麦の秋

